

千葉大学医学部附属病院で小腸内視鏡検査を施行された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年12月11日

消化器内科

消化器内科では、「小腸内視鏡検査の有用性に関する後ろ向き研究」を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2005年1月1日～2023年12月31日の間に消化管疾患の精査加療目的に当院で小腸内視鏡を施行された方

1. 研究課題名

「小腸内視鏡検査の有用性に関する後ろ向き研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月30日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究は小腸内視鏡検査を施行した患者における検査および治療の有用性、安全性および予後を比較検討し、今後の治療に役立てることを目的としています。ダブルバルーン小腸内視鏡およびシングルバルーン小腸内視鏡を施行した患者さんの検査や治療内容について診療情報などを利用させていただきます。本研究におきましては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた資料・情報は千葉大学消化器内科研究室で厳重に保管され解析を行います。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている患者さんの背景情報（性別、年齢、合併症、内視鏡検査の目的となった疾患の情報および病歴、治療内容）、内視鏡所見、画像検査所見、血液検査所見。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 教授 加藤直也

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

消化器内科・内視鏡センター 助教 對田尚

043（222）7171 内線5241